

平成28年9月期 第3四半期決算説明会

テーマ：決済のオンライン化推進と顧客の成長への貢献

2016年8月1日

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

第46回

GMO PAYMENT GATEWAY

<http://corp.gmo-pg.com/>

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2016年8月1日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

アジェンダ

1. 3Q業績サマリー
2. 成長戦略とその進捗
3. 財務ハイライト

1. 3Q業績サマリー

1.1 業績サマリー

営業利益+28.4%（前3Q累計比）、決済サービス・MSBとも好調続く

(百万円)	前3Q累計		16年9月期3Q累計				前3Q		16年9月期3Q	
	実績	通期 予想	実績	進捗率%	増減額	増減率%	実績	実績	増減率%	
売上高	6,427	11,413	8,820	77.3%	2,392	37.2%	2,264	3,089	36.4%	
売上総利益	5,061	-	6,822	-	1,760	34.8%	1,756	2,389	36.0%	
営業利益	2,300	3,741	2,953	78.9%	653	28.4%	812	1,074	32.2%	
経常利益	2,317	3,750	2,941	78.4%	623	26.9%	787	1,022	29.8%	
純利益	1,454	2,335	1,809	77.5%	354	24.4%	517	657	27.1%	
EBITDA	2,451		3,122		670	27.4%	862	1,133	31.4%	

KPI	稼働店舗数（期末）	決済処理金額（3Q概算）	決済処理件数（3Q概算）
	72,569店	約5,400億円	約2億2,700万件

■ 2016年9月期 第3四半期のポイント

1. 利益成長ペースが加速、コミットしている25%営業増益に対し順調に進捗

既存事業（20%成長の土台）：大手加盟店獲得が順調に進捗

新規事業（5%以上の成長）：マネーサービスビジネス（MSB）も順調に拡大

2. 新規事業投資、戦略的出資や海外事業など、将来に向けた施策が着実に進捗

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

1.2 最近のトピックス

4月以降のプレスリリース案件等と概要

Data processing

- 自動車税クレジットカード納付開始(大分県/福島県)
⇒政府の成長戦略「キャッシュレス決済推進」に貢献
- 決済手段「銀行振込（バーチャル口座）」追加
⇒特に銀行振込や現金が多いBtoB決済を効率化
- 「カード情報漏えい対策」セミナー開催
⇒特に大手事業者に向けたセキュリティ対策提案・アクション
- 日本初、Zuoraプラットフォームの決済パートナー
⇒IoTや様々な分野でサブスクリプション・ビジネスを支援、
「ストック型」収益での経営安定化に貢献
- バリューデザインに出資
⇒プリペイドカード発行管理事業で国内最大手、
新たなプリペイドスキーム構築を目指す

Finance service

- 「GMOイプシロン らくらく送金」開始
⇒イプシロン加盟店（29,501店舗）のコスト削減に貢献

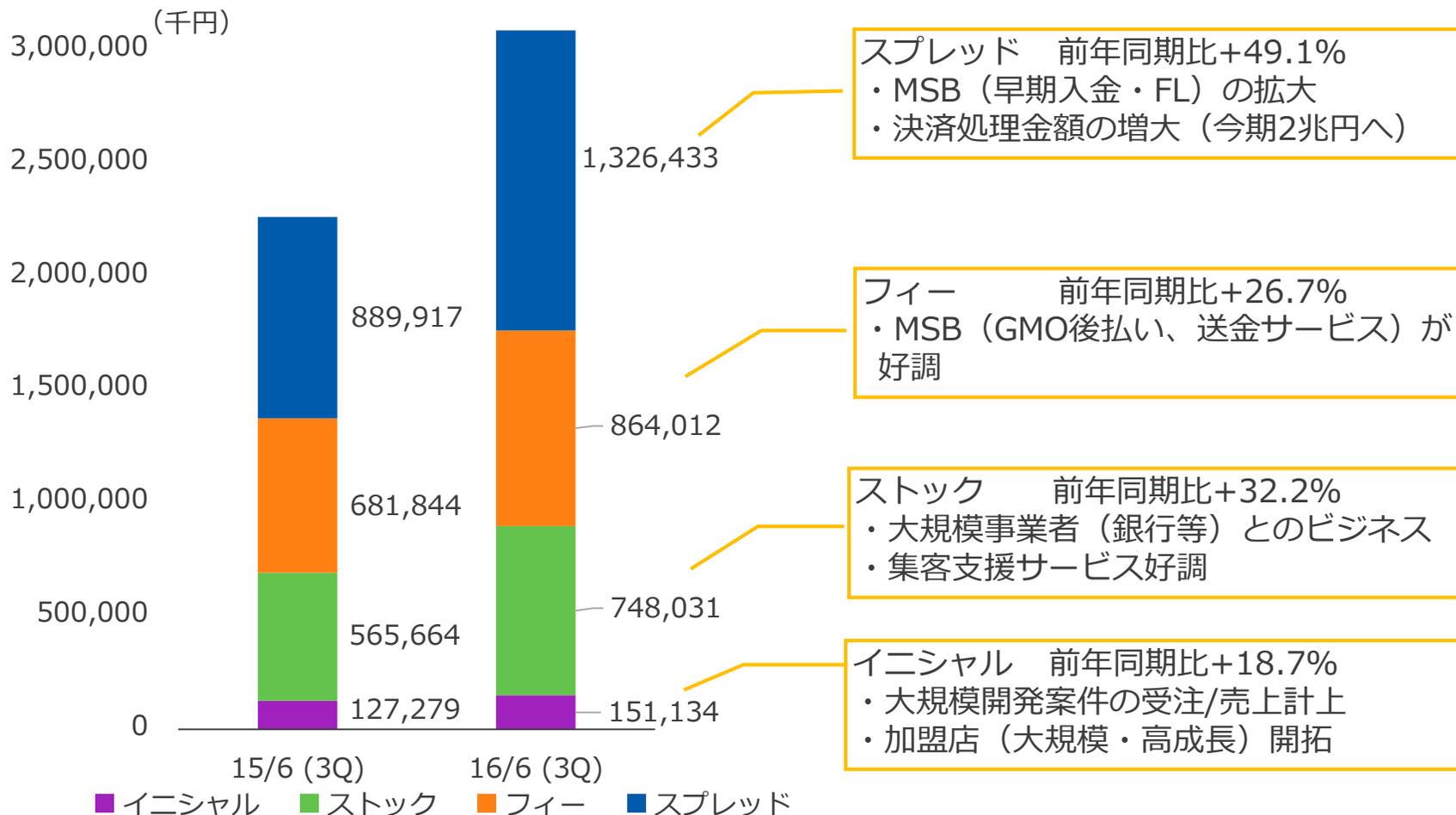
Global solution

- インドのモバイルウォレット「MobiKwik」に出資
⇒インドEC市場（20年66億米ドル予測）の戦略的パートナー

Marketing

1.3 ビジネスモデル別売上高（4-6月）

決済処理金額増大とMSBの伸長によりスプレッド+49.1%

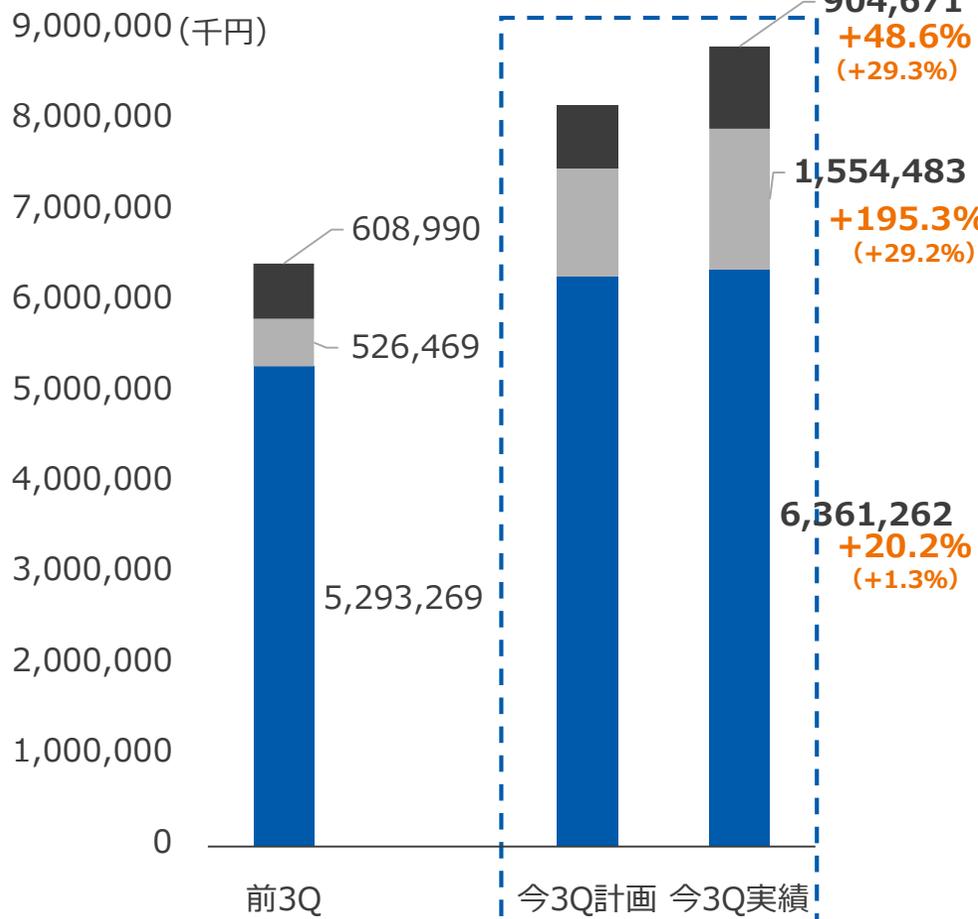


1.4 セグメント別売上高・営業利益（累計期間）

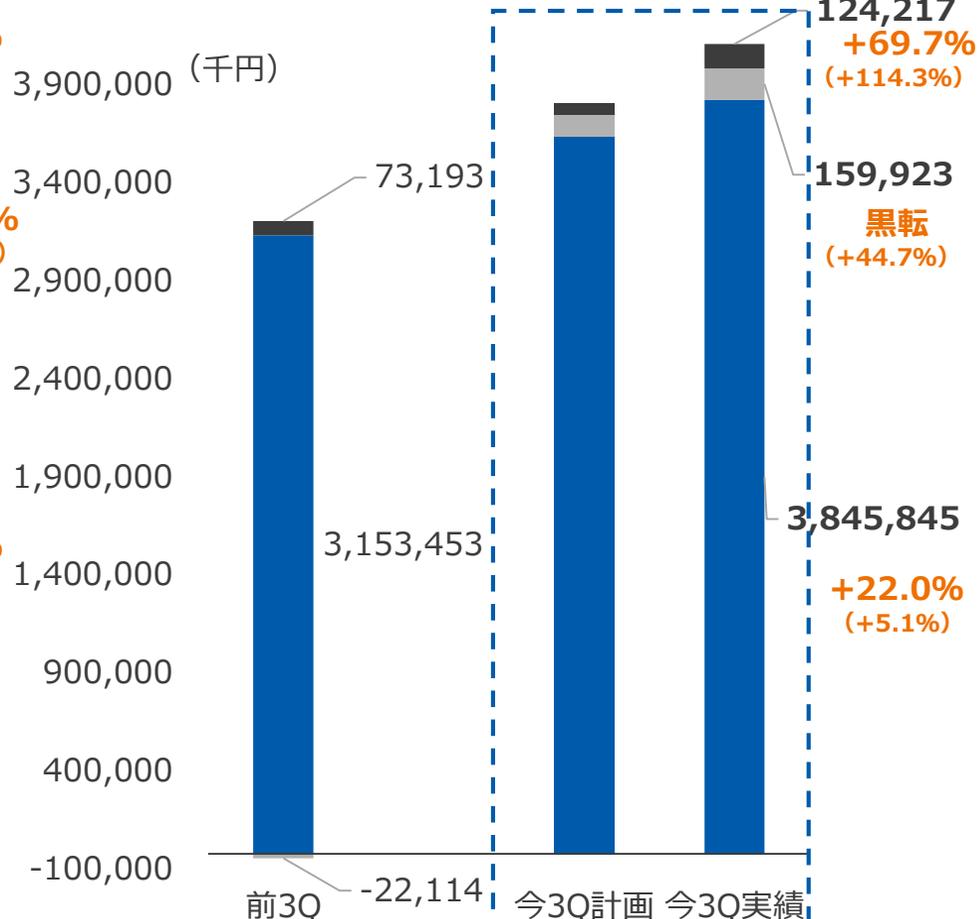
決済代行事業の営業利益は前3Q比22%増（全体は28.4%増）

※ %
 上段：前年同期比
 下段：（計画比）

■セグメント別売上高（連結消去前）



■セグメント別営業利益（連結消去前）



2. 成長戦略とその進捗

2.1 業界トピックス

トピックスから見える潮流と、当社への影響及び対応

トピックス	想定される変化	当社への影響・対応
GMOインターネット、新銀行設立準備	これまでにない金融サービス（Fintech）の創造	新銀行のお客様に対するサービスについて協働を模索
銀行再編（経営統合）が相次ぐ	基盤強化への取り組み、新たな金融サービスを模索	システム開発を含めた総合的な提案により大型案件を受注
決済関連企業に対する国際的な企業買収、大型出資が相次ぐ	EC市場におけるグローバル競争が加速	10年後を見据えたアクションを推進中、グローバルビジネスの体制強化
Paypal、Visaとの新たなパートナーシップを発表	対面と非対面の融合、決済のキャッシュレス化が加速	スマートペイ事業の推進、GMO-FGとの連携等による対面決済ビジネスへの取り組み
経済産業省「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画」発表	大手通販事業者等のセキュリティ対応負担増	セキュリティサービスの充実、対策セミナーの実施により、大手事業者をサポート

2.2 今後の事業展開

当社が目指しているもの、実現に向けた経営施策とその目的

目的	手段/施策/サービス	目指しているもの	
<p style="color: orange; border: 1px dashed orange; padding: 5px;">既にあるビジョンを次々に現実化させ、更なる事業成長を果たす</p>			
事業/サービスの海外展開	海外出資戦略/GPF、Z.com Payment	Global solution	営業利益 構成比
購買データの活用	集客支援サービス開始	Marketing	→Advertising 数%
高度なスコアリングモデル確立	TLサービス開始	Finance service	→Financial data service
与信/請求/回収に係わる ノウハウの獲得	メガバンクとのリレーション		→Remittance
	金融機関の囲い込み		→Finance lease
生活データ、多様かつ Deepなデータの蓄積	後払い決済サービス開始		→Factoring
	公金・税金分野の開拓		→BtoB lending
大量購買データの蓄積	総合的な決済関連サービス 大手加盟店開拓 / 加盟店獲得スピード加速	Data processing	→BtoB 1,000兆円
			→CtoC 1兆円 EC化率4.8% [※] →BtoC 13.8兆円
			約90%

※出典：経済産業省「平成27年度電子商取引に関する市場調査」

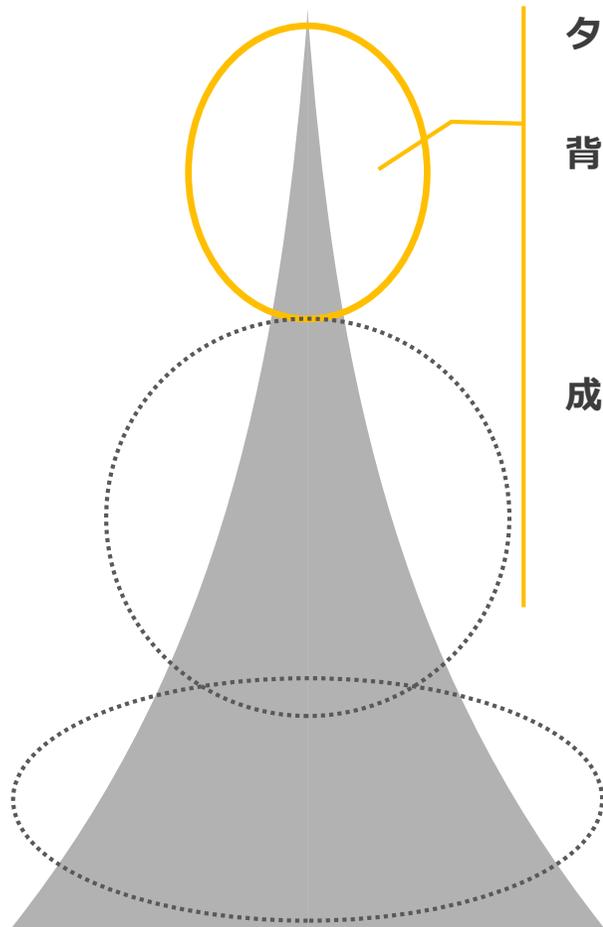
GPF:GMO Global Payment Fund

GMO PAYMENT GATEWAY

□ 今期営業利益38億円の源泉

2.3 大手事業者の獲得

営業力とシステム力の両輪、問題解決により大手顧客を開拓



ターゲット：

- ・大手通販・EC事業者、金融機関、大手損保、自治体、電力・ガス etc

背景：

- ・新たなマーケット創出（CtoC、BtoB、金融機関 etc）
- ・規制緩和（電力ガス小売自由化 etc）
- ・規制強化（セキュリティ対応[※]）

成果の必然性：

- ・圧倒的なシステム力（処理能力 / コスト競争力）
- ・システム開発からの案件取り込み
- ・時流・ニーズを先取りした提案

※クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画
（経済産業省／日本クレジット協会が2016年2月に公表）

決済処理金額1兆円増に向けプロジェクトを発進中

2.4.1 対面市場

Data processing

「単体」から「組み込み」へ、全てのデバイスにインターネットを

GMO FINANCIAL GATE

IoT

Internet of Things



サイネージ型自動販売機

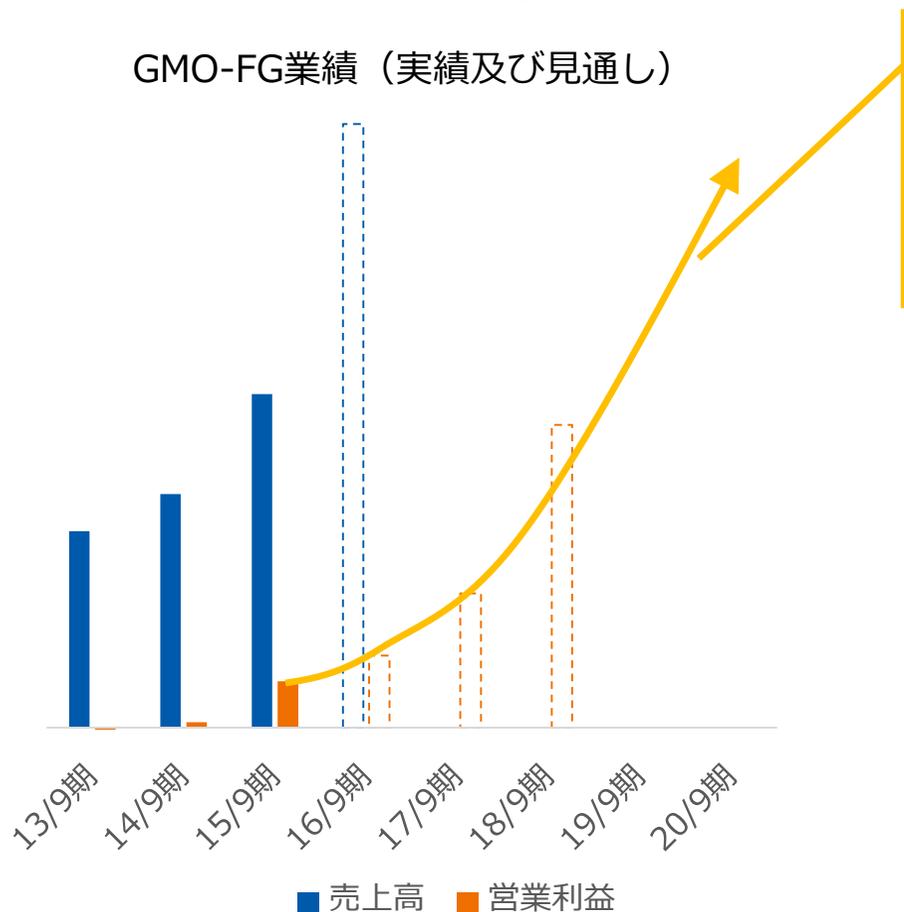
2.4.2 対面市場

Data processing

業務提携型ビジネスの成果、新たな対面市場の成長領域を取り込み事業拡大

GMO FINANCIAL GATE

GMO-FG業績（実績及び見通し）



今後の成長ドライバー

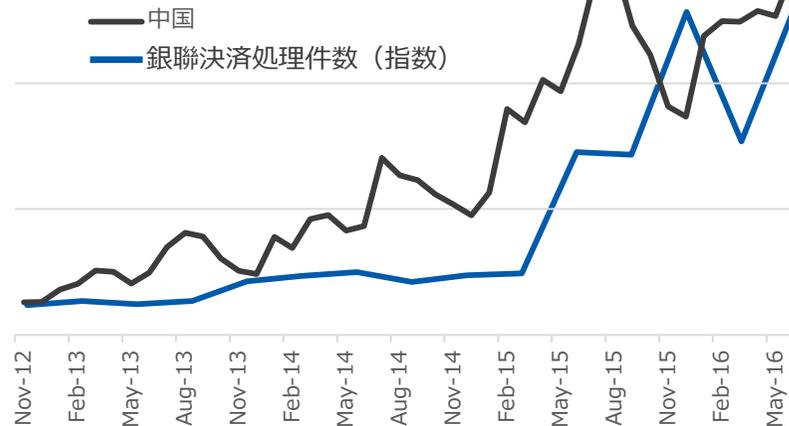
IoT関連

スマートフォン

インバウンド etc

※インバウンドの取り込み状況

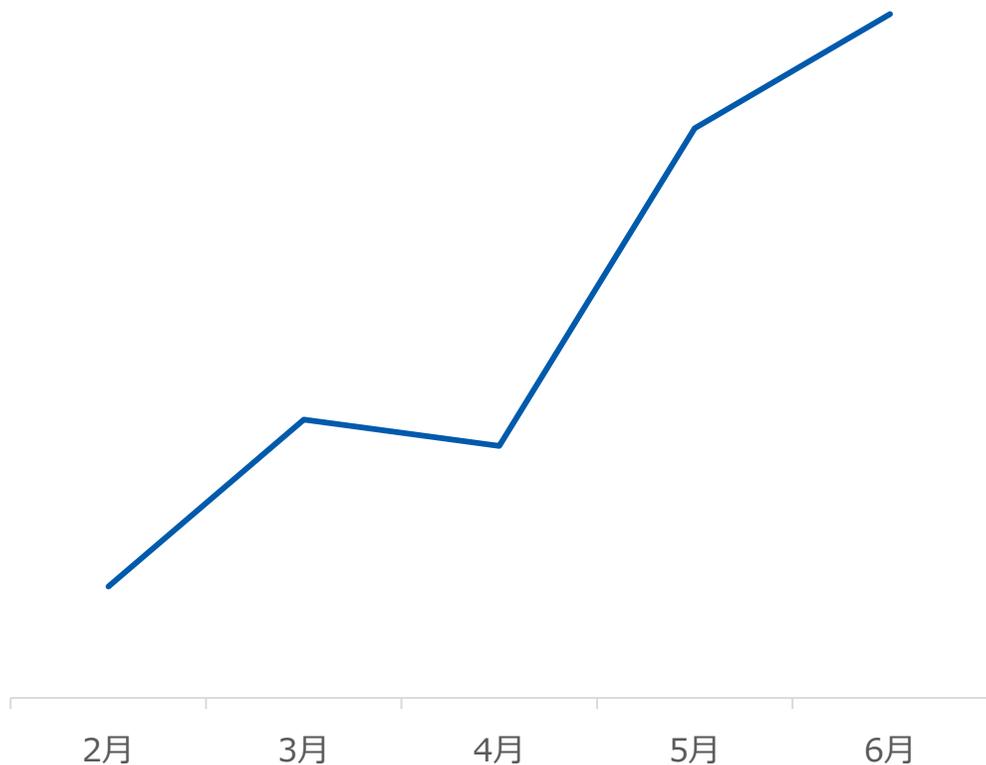
訪日外客数（中国）と銀聯決済件数（指数）



2.5 SMBC GMO PAYMENT

Data processing

事業計画を上回る案件が流入、営業体制を強化し迅速対応中



— 紹介実績

期待通り両社のシナジーが発現



三井住友銀行

SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION

国内外の強固な事業プラットフォーム及び信用力



Synergy

先進性及び競争優位性のある技術等の経営資源

GMO PAYMENT GATEWAY

2.6 マネーサービスビジネス①

アセット、関連売上高とも順調に拡大

MSB関連売上高
約9億円/通期

約4億円/1Q

約10億円/2Q累計

約16億円/3Q累計

約126億円

B/S計上分
約50億円

約62億円

約100億円

期初計画
約17億円/年

約90億円

前4Q末
残高

9月単月
決済処理
金額
(GMO後払い)

当1Q末
残高

12月
単月

当1H末
残高

3月
単月

当3Q末
残高

6月
単月

当4Q末
残高

9月
単月

Transaction lending

Early payment

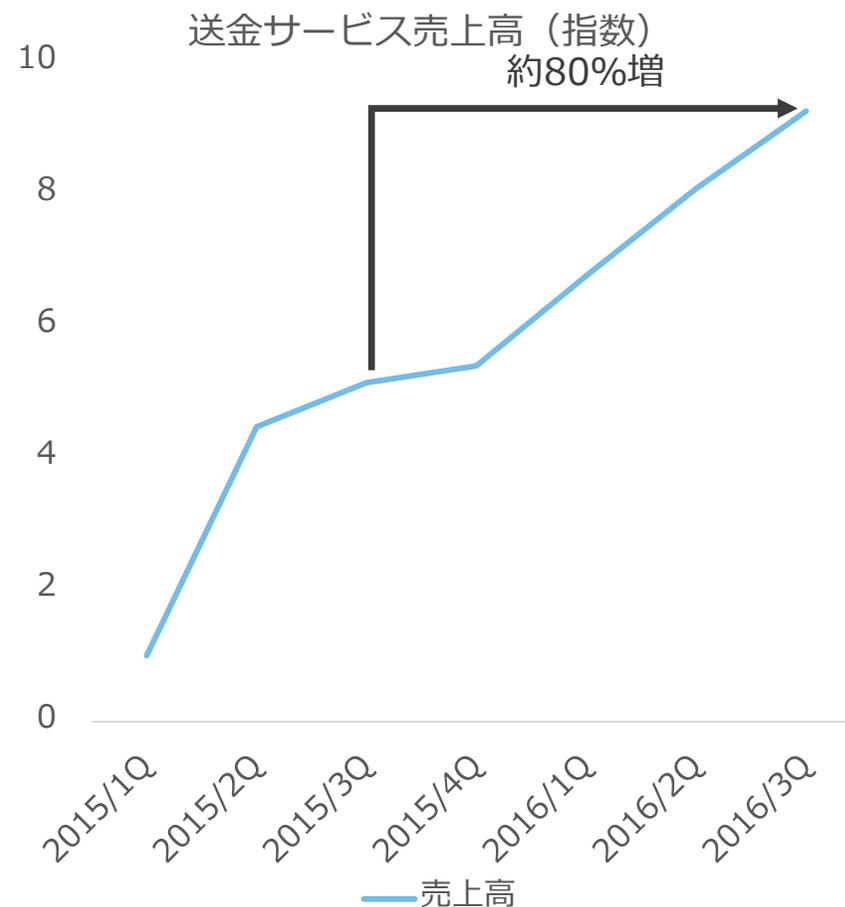
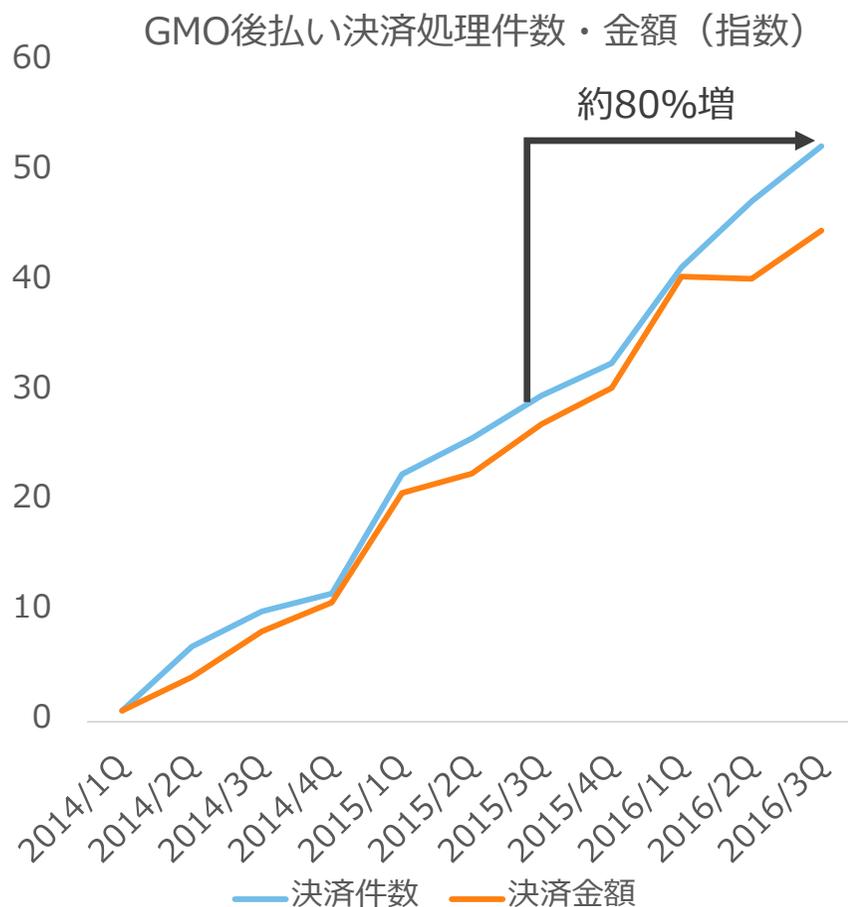
Finance lease

Payment after delivery

2.7 マネーサービスビジネス②

GMO後払い、送金サービスも好調

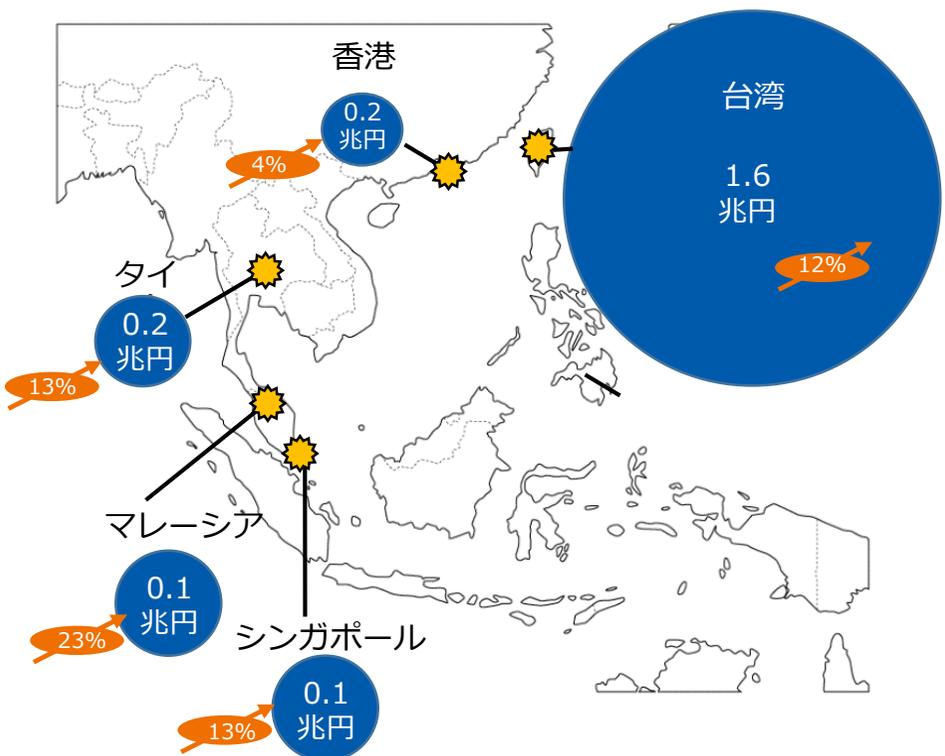
GMO PAYMENT SERVICE



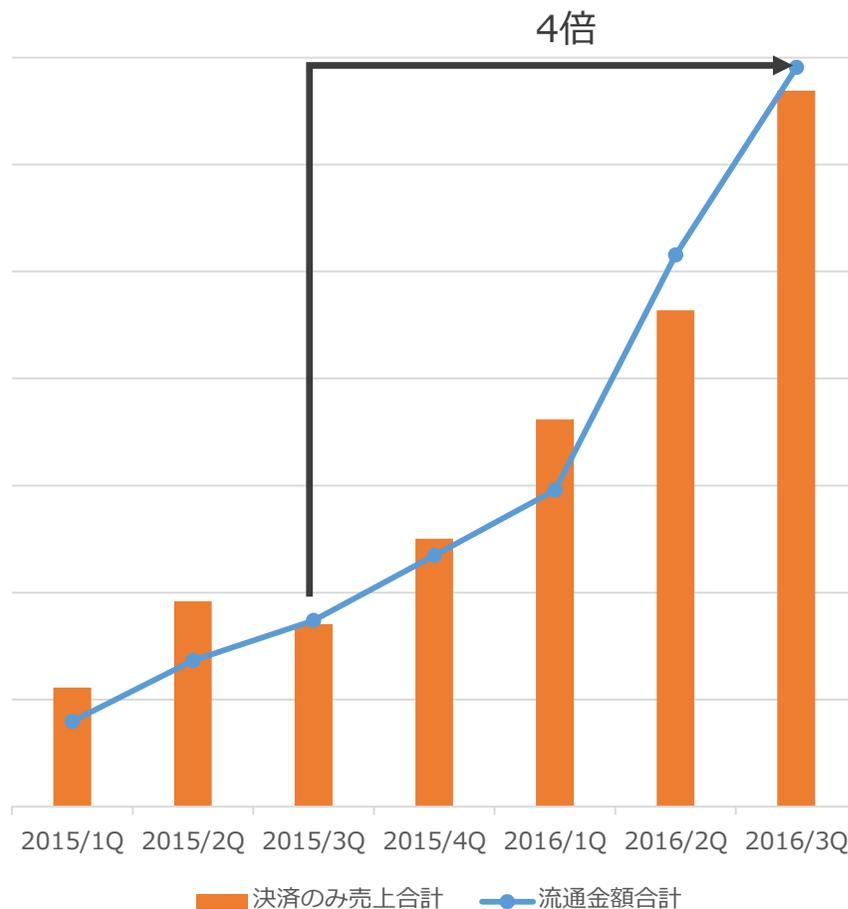
2.8 グローバルビジネス

台湾の進出支援、決済代行サービスが進捗、流通金額が4倍に

■ EC(B2C)市場規模と年間平均成長率



■ 流通金額、決済売上とも上昇トレンド続く



● 2016年B2C市場規模 (予測) % 2016~2019年の年間平均成長率 (予測)
☀ 弊社海外拠点

3. 財務ハイライト

3.1 連結貸借対照表

マネーサービスビジネスの進捗は流動資産の部に反映

(百万円)	16年9月期 3Q末実績	15年9月期 3Q末実績	増減	(百万円)	16年9月期 3Q末実績	15年9月期 3Q末実績	増減
流動資産	47,680	39,868	7,812	流動負債	35,459	26,895	8,564
現金及び預金	30,493	34,934	△4,440	預り金	29,940	24,243	5,697
リース債権	6,004	1,045	4,958	ファイナンス・リース関連			
前渡金	6,280	1,567	4,712	早期入金サービス拡大 (BS残高は連結処理(相殺)後)			
未収入金	1,677	998	678	未払金	2,820	1,763	1,057
貸倒引当金	△289	△159	△129	GMO後払い増加 その他の流動負債	2,698	888	1,809
その他の流動資産	3,514	1,481	2,032	固定負債	224	179	44
固定資産	5,085	3,030	2,054	株主資本	17,206	15,668	1,538
有形固定資産	206	218	△11	資本金	4,712	4,710	2
無形固定資産	1,178	861	317	その他の包括利益 累計額	△124	153	△277
うちソフトウェア	930	664	266	純資産合計	17,082	15,823	1,258
投資その他の資産	3,699	1,951	1,748	投資有価証券及びその他の関係会社有価証券の増加			
資産合計	52,766	42,898	9,867	負債・純資産合計	52,766	42,898	9,867

3.2 連結業績サマリー

売上・利益とも予想を上回り最高益を更新

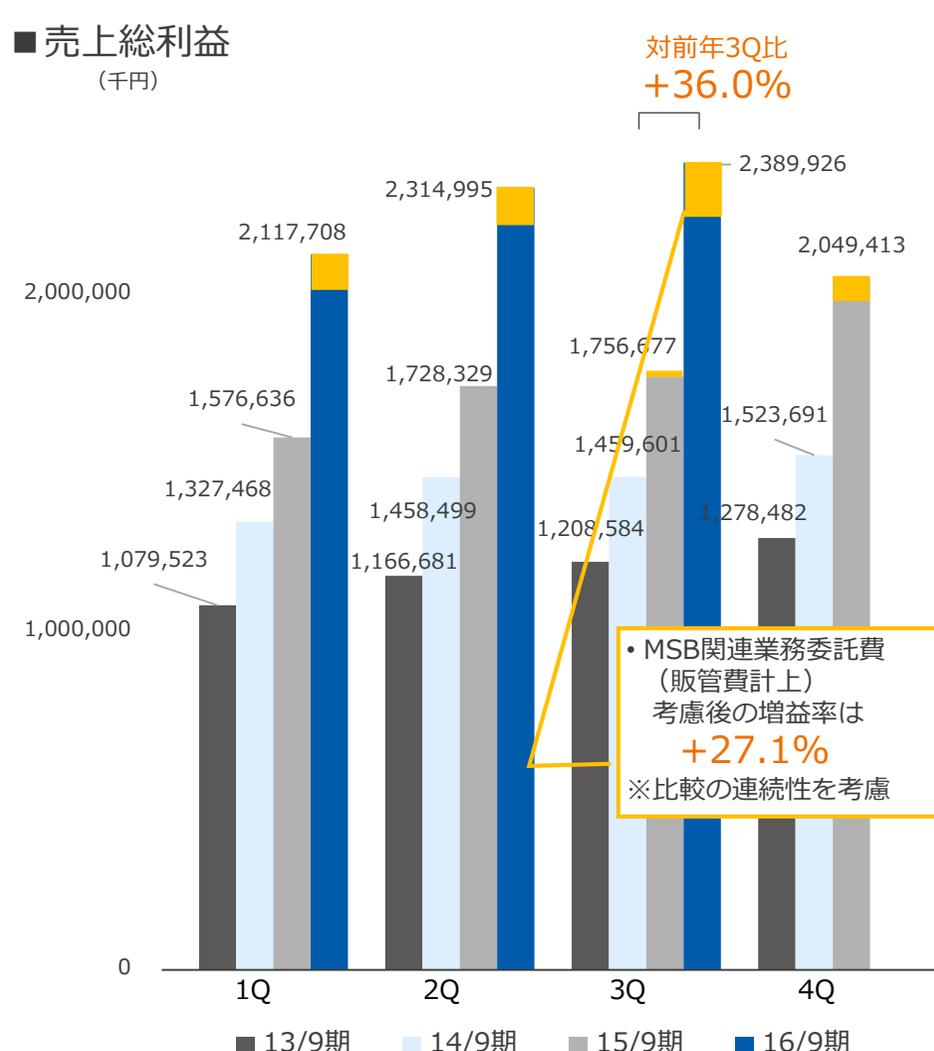
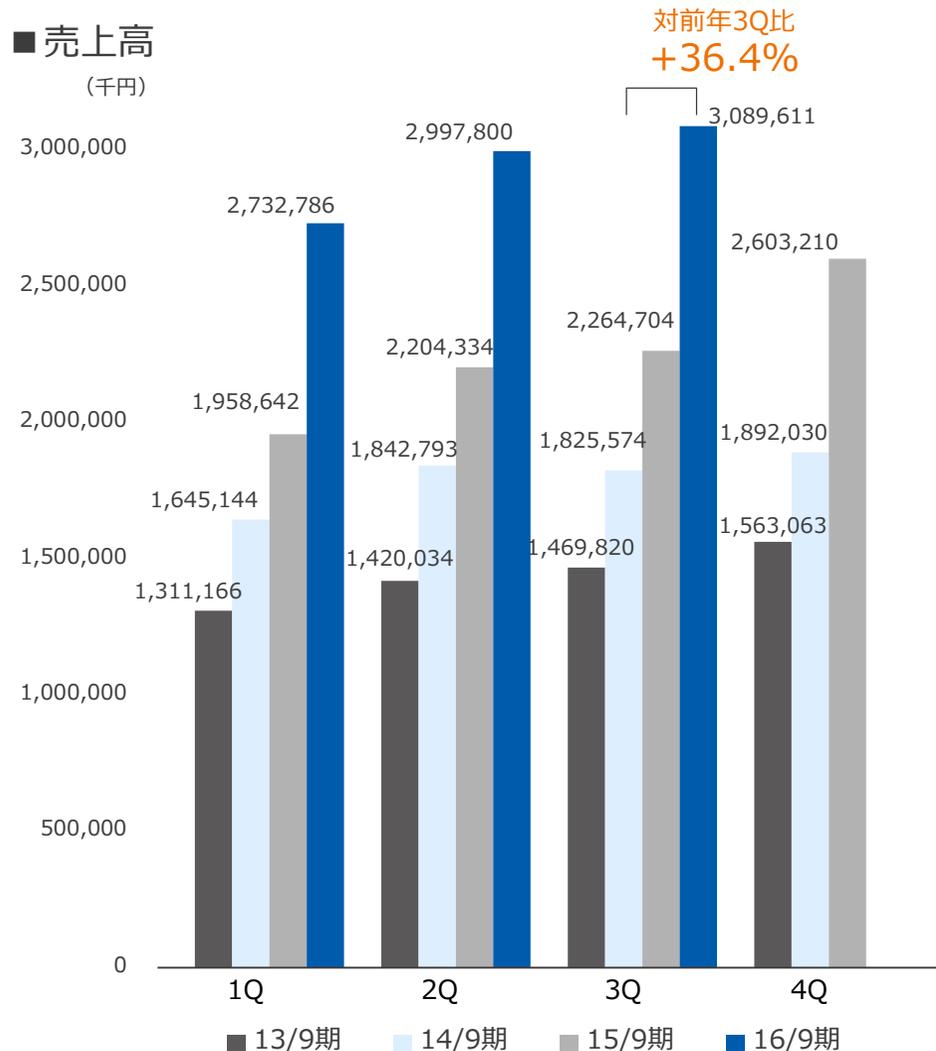
(百万円)	16年9月期3Q累計		前期比		15年9月期3Q累計	
	実績	構成比 (%)	増減額	前期比 (%)	実績	構成比 (%)
売上高	8,820	100%	2,392	+37.2%	6,427	100%
売上原価	1,997	22.6%	631	+46.2%	1,366	21.3%
売上総利益	6,822	77.4%	1,760	+34.8%	5,061	78.7%
販売費及び 一般管理費	3,869	43.9%	1,107	+40.1%	2,761	43.0%
営業利益	2,953	33.5%	653	28.4%	2,300	35.8%
経常利益	2,941	33.3%	623	26.9%	2,317	36.1%
純利益	1,809	20.5%	354	24.4%	1,454	22.6%
一株当たり 純利益 (円)	48円70 銭	-	-	-	42円04銭	-
EBITDA	3,122		670	27.4%	2,451	

※当社は、2015年6月25日を払込期日とする第三者割当増資により普通株式2,587,300株を発行しております。

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

3.3 売上高・売上総利益 四半期推移

対前3Q比 売上高+36.4%、売上総利益（実質）+27.1%

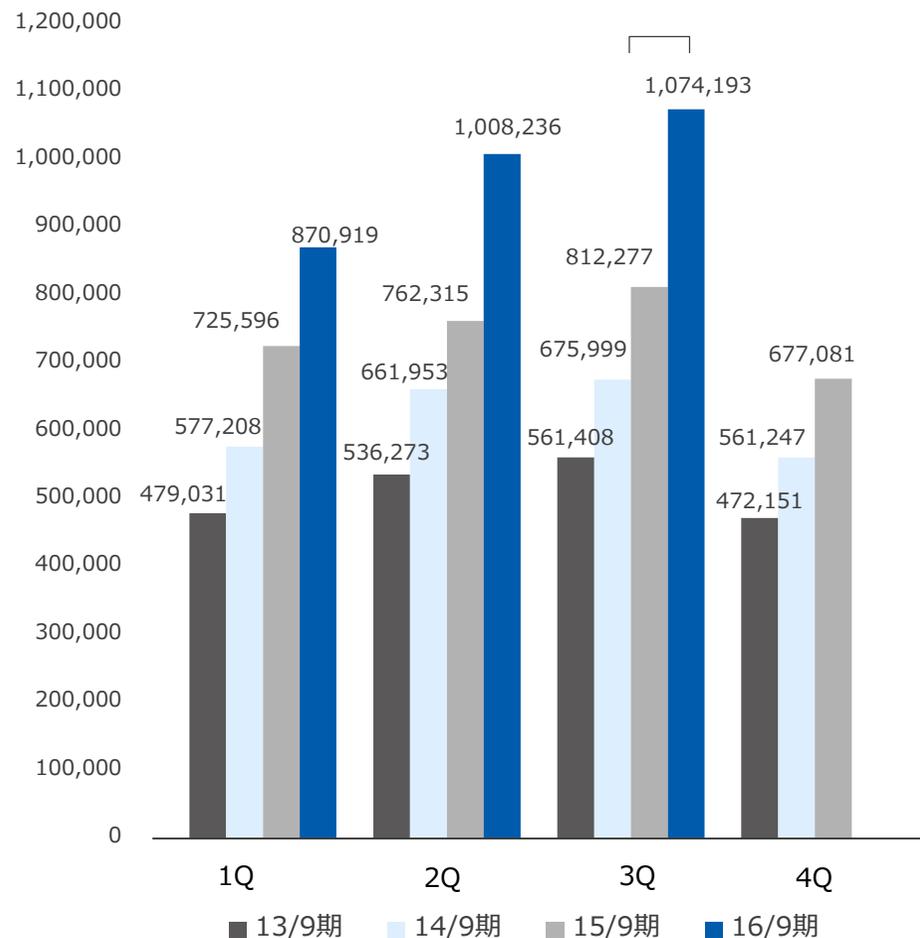


3.4 連結営業利益・経常利益 四半期推移

営業利益は前3Q比+32.2%、経常利益は同+29.8%

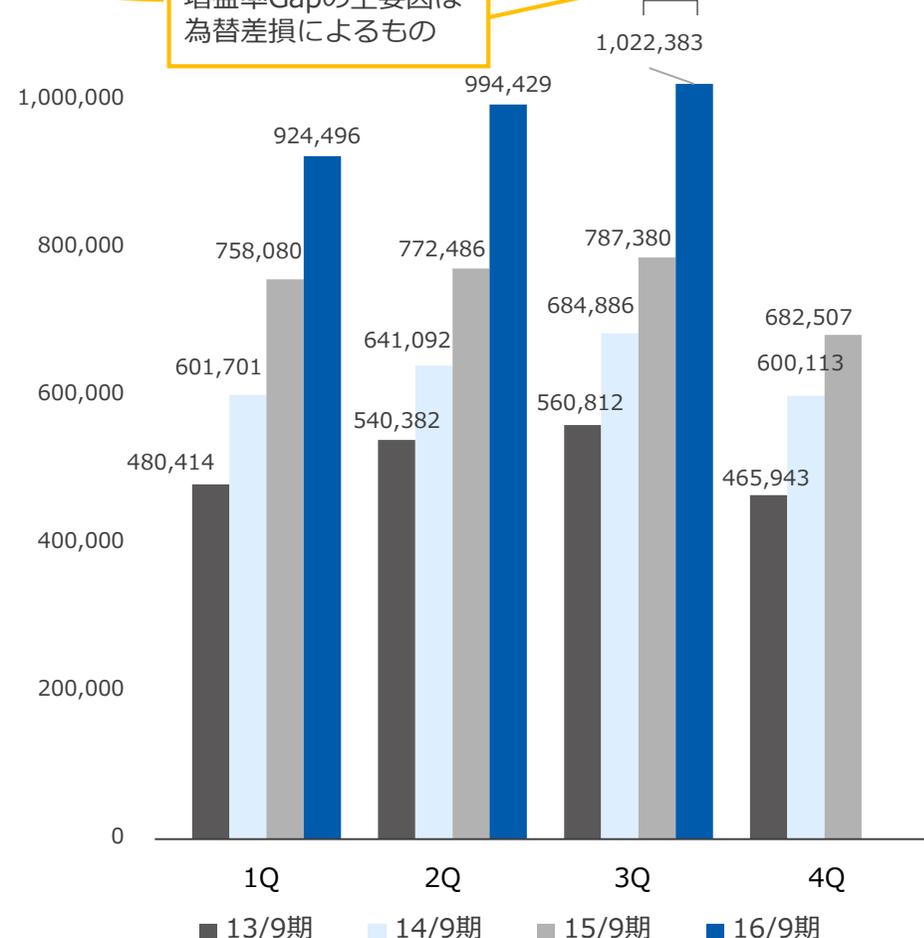
■ 営業利益

(千円)



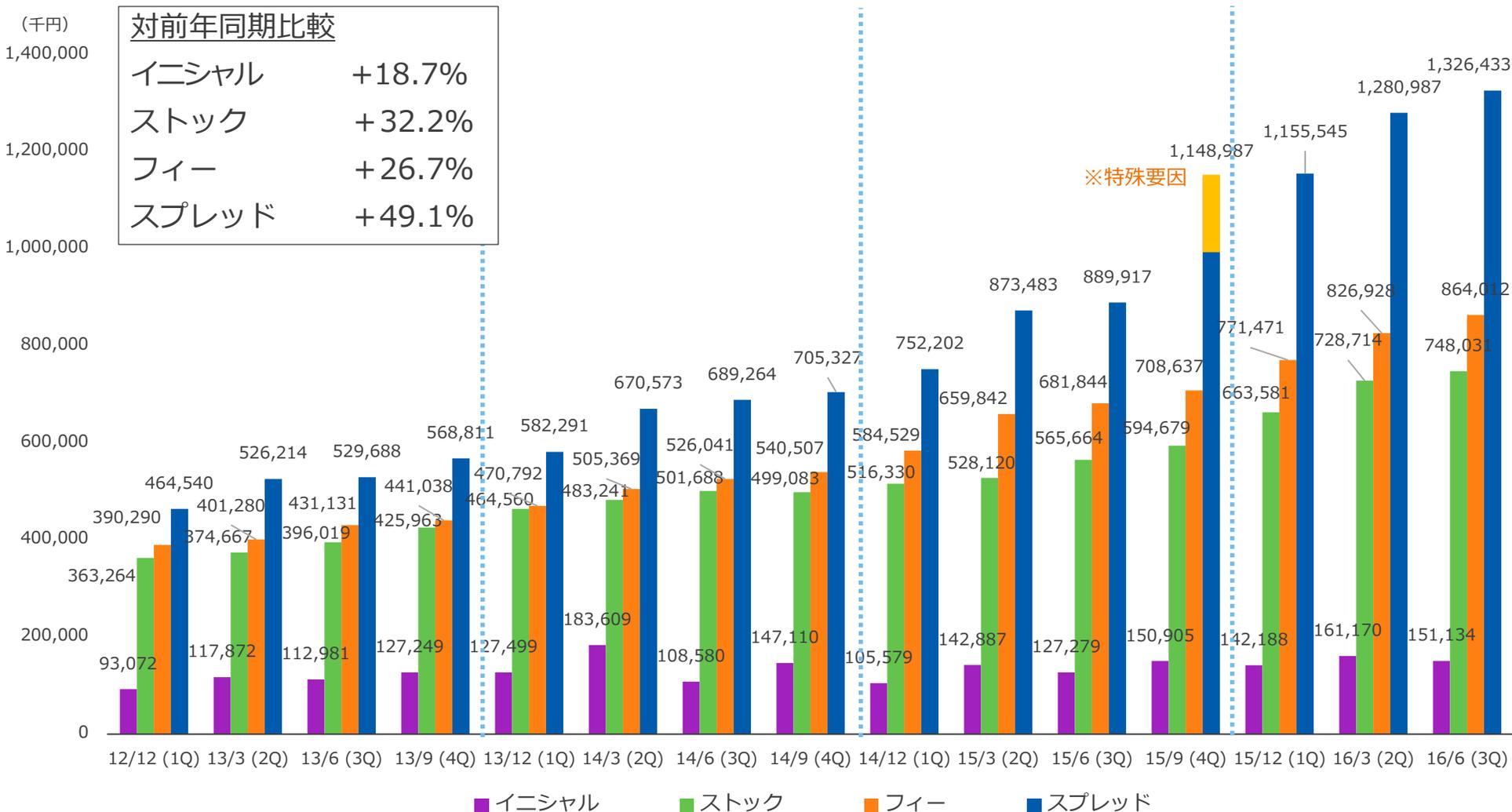
■ 経常利益

(千円)



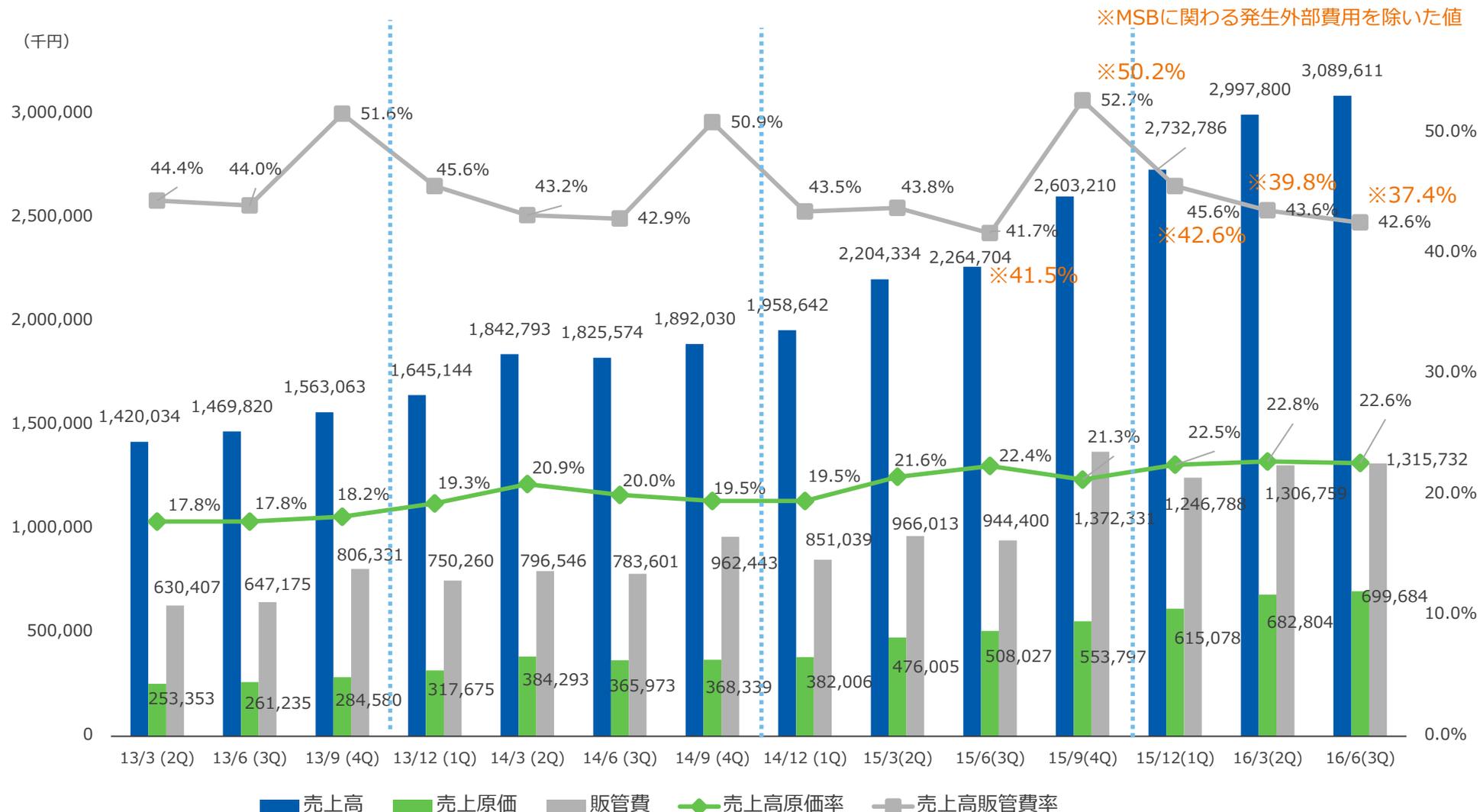
3.5 ビジネスモデル別売上（四半期推移）

スプレッド収益+49.1%



3.6 売上高原価率・販管費率（四半期推移）

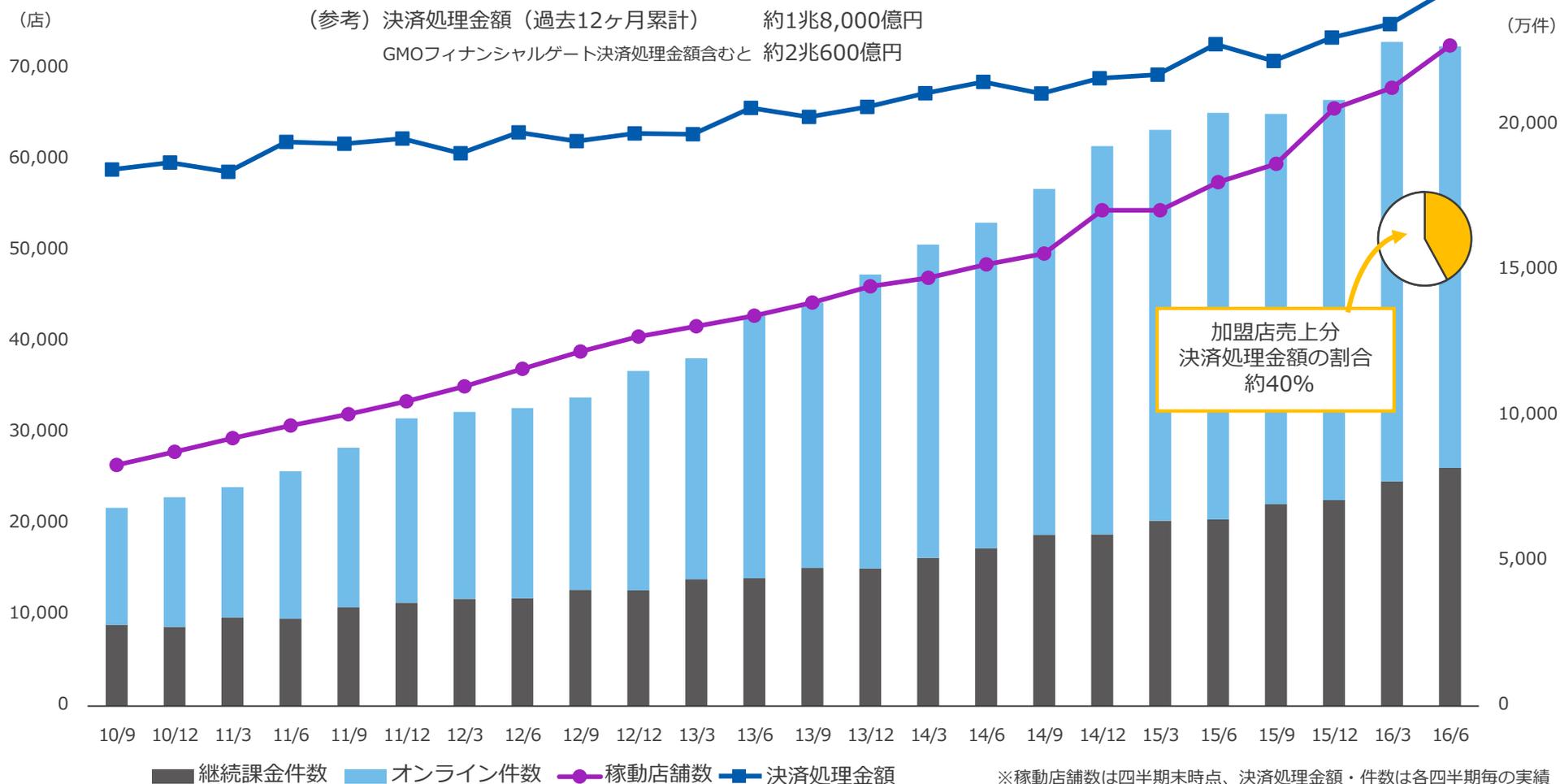
売上構成比の変化により原価率が変動



3.7 主要KPI推移 (四半期推移)

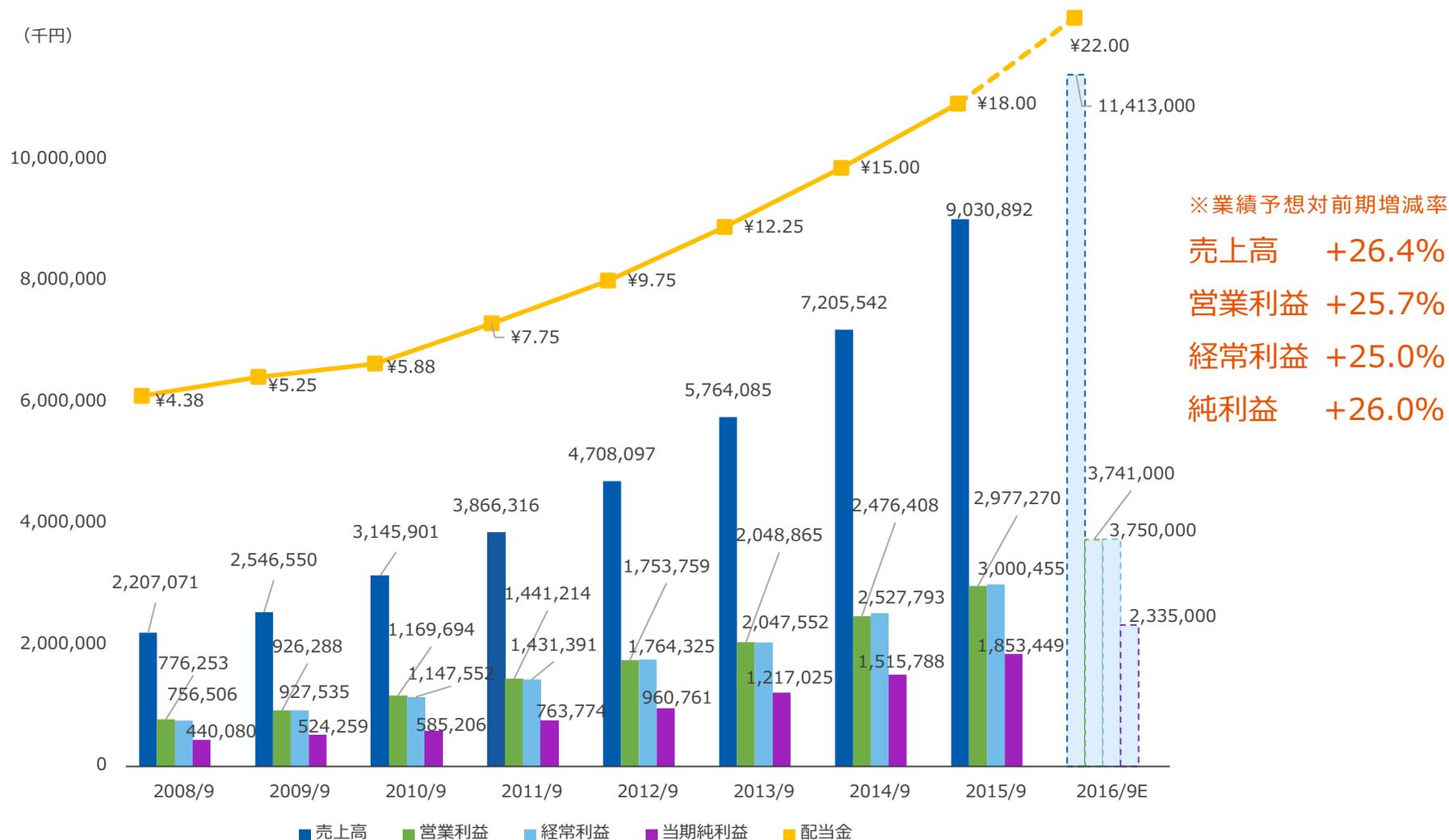
決済処理金額は今期2兆円を超えるペースに増大

稼働店舗数 72,569店、決済処理金額 約5,400億円、決済処理件数 約2億2,700万件



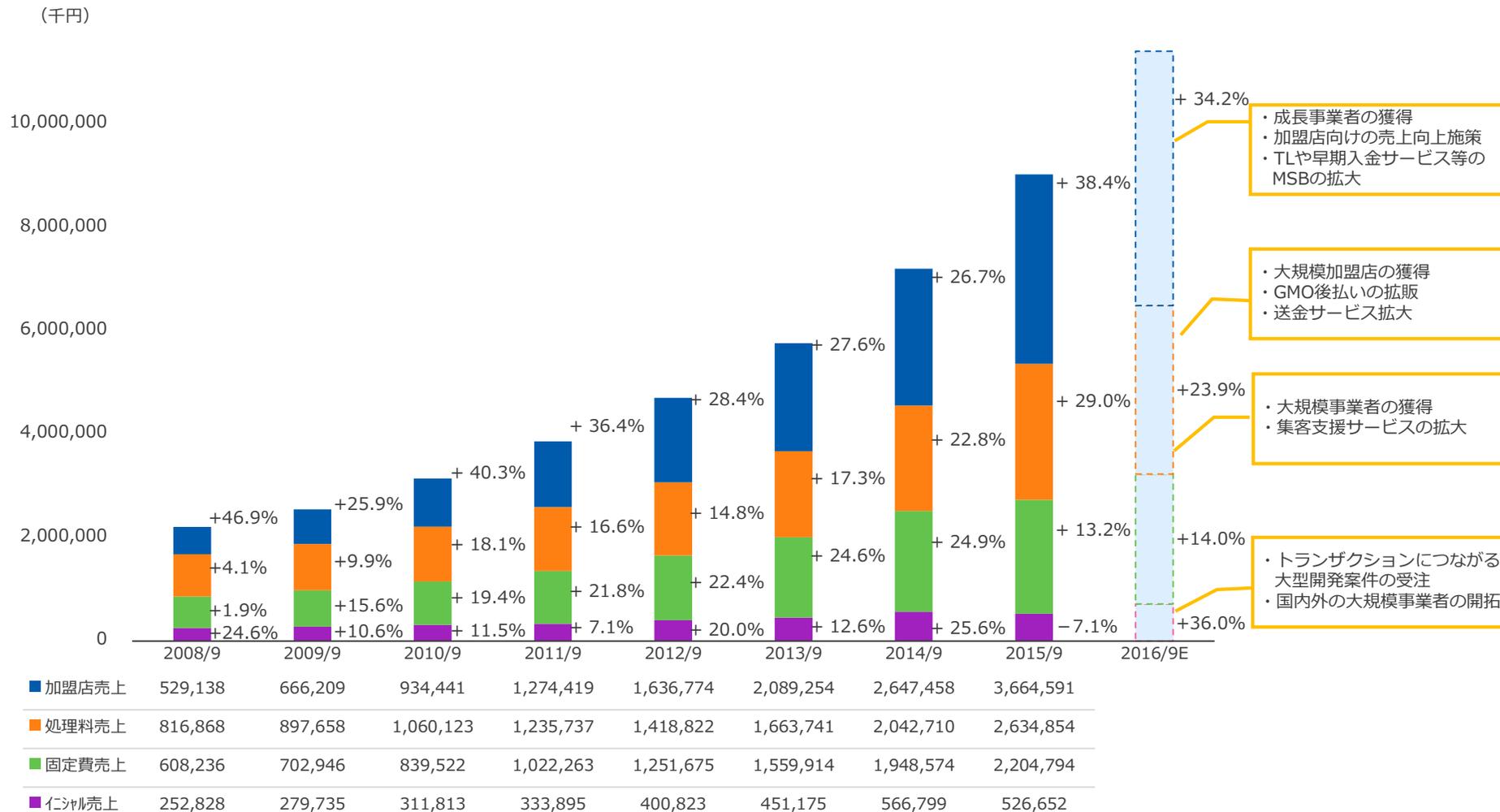
3.8 連結業績推移サマリー（2016/9期予想）

25%利益成長、配当は22円を計画



3.9 ビジネスモデル別売上推移（2016/9期予想）

各種施策により各ビジネスモデルの持続的成長を目指す



※%は対前年同期比

ありがとうございました

GMO PAYMENT GATEWAY

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

IRサイトURL <http://corp.gmo-pg.com/>

お問合せ・個別取材のお申込みは、企業価値創造戦略 統括本部 IR室までご連絡ください。

IR室 TEL:03-3464-0182